

九州大学経営協議会議事録

日時：平成27年6月23日（火）12：57～14：55

場所：九州大学 椎木講堂大会議室

出席者：29名中22名出席

【紹介】

経営協議会委員及び本学の役員等について紹介があった。

【経営協議会の概要説明】

経営協議会の法律上の位置づけ等について説明があった。

【審議事項等】

1 九州大学アクションプラン2015について

九州大学アクションプラン2015について報告があった後、以下のような意見等があった。

- ・デザイン思考を活用という点について、人材育成だけでなくフィールドワークなど具体的なプロセスも含めてしっかり考えていただいて、知財の面も重要になってくるので専門分野の知識を集めて取り組んでいただきたい。
- ・大学には障害学生に対する合理的配慮の提供が義務づけられるが、ダイバーシティや安心安全な環境づくりなど大学全体のアクセシビリティを向上させることは効果がある。障害者支援として、バリアフリーやコミュニケーション支援、修学支援のほか、地域との連携についても九州大学には積極的に取り組んでいただきたい。
- ・九州大学は理工系や医系は強いが、法律や経済など人社系の分野も頑張ってもらいたい。
- ・情報の発信という点では、九州には科学部の記者があまりいないので、東京オフィスがあるのであれば、これぞ、という発表は東京に持ってきていただくといいのではないかと。
- ・グローバル人材の育成について、スーパーグローバル大学として世界のトップ100を目指すにはカリキュラムの英語化などは避けて通れないと思うが導入等考えているか。

カリキュラムの英語化や科目ナンバリング等は既に動いており、そういった点については強く認識しているところである。

- ・百周年の時に「躍進百大」のメッセージを出しているが、それから大きく変わったところはあるのか。

9つの項目としていたものを、まとめたり具体的な内容を盛り込んだり等はしたが、内容については大きな変更はない。

- ・文部科学大臣から人文社会科学系の組織見直しについて通達がなされているが、アクションプランの p.4 の 2)に記載されている人文社会科学系への重点支援というのは、p.7に記載があるような人文社会科学分野の再編成と関連しているのか。再編成を前提とした支援ということか。

重点支援については財政的な支援もある。それとは別に大学の使命等を踏まえた再編成・機能強化も検討していく。

2 第三期中期目標・中期計画素案について

第三期中期目標・中期計画素案について説明があり、審議の結果、これを議決した。議

決後総長から、本件は役員会において審議のうえ文部科学省へ提出する予定であるが、文部科学省からの指示等により修正を要する場合の取扱いについては一任いただきたい旨の発言があった。

なお、以下のような意見等があった。

- ・「躍進百大」を実行していくためには具体的にいつまでにどのようにしたらいいか、ということもこの中期目標・中期計画に入っているのか。

年度毎にここまで実施するということが年度計画として別途策定することとなる。

- ・女性教員や留学生比率の目標値が出ているが現状はどれくらいか。事務職員も含めて女性の上位職種への登用についても目標を立てた方がよいと思う。

女性教員は 12.5%+ であり、毎年度 0.5%ずつ増やしていく計画を立てている。留学生数は現在 2,000 名程度で約 11%である。事務職員については管理職のうち女性を 13%にするという目標値をたてており、現状は約 10%となっている。

- ・新学部については大学の中だけで検討していると思うが、学内だけではなく、もっと学外の実社会の方々の意見を聴いて進めていただければと思う。

21 世紀プログラムなどは企業の方にも評価していただいているので、そのような場での評価等も踏まえながら進めていきたい。

- ・中期計画の中で、「研修会を年 3 回以上開催」といった書き方をしているところがあるが目標設定としては少し違和感がある。

ご意見を踏まえ、開催回数ではなく適切な表現となるよう再検討する。

- ・病院に関する目標に全人的医療人の育成について記載があるが、これには多くの連携が重要になってくると思う。ワークショップ等の開催による育成だけではなく、もう少し新しいやり方等考えているか。

全人的医療人の育成については、卒前、卒後を通した教育が重要であると考えている。そういった教育プログラムを構築していきたい。

3 平成 26 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

平成 26 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について説明があり、審議の結果、これを議決した。

4 平成 26 事業年度の決算について

平成 26 事業年度の決算について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような意見等があった。

- ・収益の拡大には病院収益の増が貢献しており、これに頼っているところもあると思うが病院の増収はずっと続くのか。

医療技術の高度化によりコストも増える。ドクター及びその周辺の職員等も非常に頑張っているところであるが、過重労働とならないよう新しい人事制度等を設けたりしながら進めていくこととしている。

収益を伸ばし続けるのは難しいが、人を増やすことは収入の安定につながる。マンパワーが必要である。

5 平成 28 年度概算要求事項について

文部科学省から提示された平成 28 年度における国立大学法人運営費交付金の重点支援の概要及びこれを踏まえた平成 28 年度概算要求事項（案）について説明があり、審議の

結果、概算要求事項について議決した。

6 平成26年度資金運用実績について

平成26年度の資金運用実績について報告があった。

7 総長選考会議学外委員の選出について

総長選考会議学外委員の選出について説明があり、審議の結果、7名を選出した。

【懇談】

会議後、懇談会として「九大水素プロジェクト」について説明があった。

【その他】

会議後の伊都キャンパス内視察についての案内及び次回の経営協議会は平成27年10月22日に開催予定である旨の案内があった。

(以 上)